

『えひめいとすぎ物語』

愛媛県青少年赤十字賛助奉仕団

委員長 平松 清一

1 赤十字誕生といとすぎ



アンリー・デュナン

1859年6月24日、イタリアのソルフェリーノの丘で激しい戦がありました。イタリア・フランスの連合軍15万人とオーストリア軍17万人の入り乱れての戦いが、15時間も続きました。ソルフェリーノの丘は、死んだ兵士が山となり、傷つき、苦しんでいる両軍の兵士が9,000人もいました。

そこへ、仕事の関係で通りかかったのが、スイス人のアンリー・デュナンであります。そのむごたらしい様子を見て、アンリー・デュナンは村の人たちに呼びかけました。

「みんな同じ人間同士ではないか。傷つき倒れた兵士は敵も味方もない。同じ人間として助けよう」

そして、3日3晩、必死になって、傷ついた兵士を助ける活動をしました。

村の人たちも「人間みな兄弟」を合い言葉に協力しました。

しかし、多くの兵士が助けられず死んでいきました。スイスに帰ったアンリー・デュナンは、これらの、辛い悲しい体験を「ソルフェリーノの思い出」という本を書き、世界の人に訴えて作ったのが、赤十字であります。



ソルフェリーノでの戦いのようす

すなわち、ソルフェリーノの丘は赤十字が誕生するきっかけとなった場所であり、そこには、いとすぎの木が群生していました。そのようなことから、いとすぎは、赤十字のシンボルシンボルツリーといわれるようになりました。



ソルフェリーノの丘のいとすぎ

2 賛助奉仕団といとすぎ

私たちは、全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会の一員であります。この会は1974年(昭和39年)に設立しましたが、その信条は

- (1) 青少年赤十字の充実発展に協力する。
- (2) 赤十字思想の普及発展に努め、平和な社会の実現に寄与する。
- (3) 志を同じくする人々と手を取りあい研鑽に努める。

このように、私たちの会は、青少年赤十字の応援組織であり、その団員は、かつて青少年赤十字の指導者であった者及び青少年赤十字に深い理解と見識を持った者であります。

平成3年に、この会の会員バッジが決定しました。このデザインは、ソルフェリーノの丘の上に3本のいとすぎを配し、中央に円形の赤十字を記したものであります。すなわち、アンリーデュナンが赤十字思想を誕生させた地であるソルフェリーノの丘のいとすぎをバッジのデザインとして取り入れました。

次いで、平成7年に全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会の会報が創刊されましたが、その名称は、バッジのデザインと呼応して、「いとすぎ」となりました。

このように、いとすぎは、私たち賛助奉仕団の象徴的な存在であります。



会員バッジ



会報「いとすぎ」の表紙

3 わが国におけるソルフェリーノの丘のいとすぎの普及

1959年（昭和34年）赤十字思想誕生100周年を記念して、イタリアの赤十字社が、ソルフェリーノの丘で採取したいとすぎの種が、日本赤十字社へ送られてきました。

その種を第5回青少年赤十字大会において、その大会参加者に配布し、いとすぎの普及が始まりました。

日本赤十字本社の庭にあるいとすぎは、そのときの種から育苗し、植樹し、成長したものです。

いとすぎの普及に、特に力を入れたのは東京都の青少年赤十字賛助奉仕団であります。当奉仕団は、当初より、いとすぎの育苗・植樹やいとすぎの教材化や生育状況の調査を行ってきました。そして、平成11年には、いとすぎ育苗VS部を設立し、組織的に取り組むようになりました。

そして、平成16年には、全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会において、日赤本社前のいとすぎから採取した種を、会員に配布しました。それ以降、随時、種だけでなく、育苗した苗を各地に提供してきました。それとともに、いとすぎに関する育て方の説明書も添えて下さいました。

いとすぎ育苗VS部の研究紀要からまとめますと

- ① いとすぎはヒノキの一種で、地中海性気候植物の常緑樹である。
- ② そのため、寒さに弱く、日本では東北地方以北では生育しにくい。
- ③ いとすぎの実は、直径2センチほどの球果であり、その中に100粒ほどの種がある。
- ④ その種を鹿沼土などにまいて発芽させる。発芽率は極めて低い。100粒まいて、2～3本しか発芽しない。
- ⑤ 半年か、1年くらいたって、3号鉢くらいに移植する。
- ⑥ 3～4年（高さ1メートル前後）後に定植する。
- ⑦ 移植したときには、水をたっぷりやるが、その後は特別雨が降らない場合以外、水をやる必要はない。



日本赤十字社のいとすぎ



いとすぎの球果



いとすぎの種



1年目の苗

4 愛媛県におけるいとすぎ植樹のはじまり

平成16年の全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会創立40周年記念大会に、本県から私と上甲胤一副委員長が出席しました。その時、東京都の賛助奉仕団のいとすぎ育苗V S部より提供されたいとすぎの種を上甲先生が持ち帰りました。

正直言って、私はいとすぎに関して、それほど興味を抱いていませんでした。

ところが、半年ほどたって、4月ころだったと思うのですが、いとすぎの種から13本が発芽したとの電話をもらいました。いとすぎのことをすっかり忘れていた私は、驚き、且つ目が覚めた思いでありました。「大事に育てて下さい」とお願いしました。

上甲先生は、その後東京都の賛助奉仕団の大西路男先生の指導をいただき、種からの育苗だけでなく、挿し木による育苗方法を学びいとすぎの苗を育てるのに尽力されました。

そして、平成18年には、松山市のさくら小学校、今治市の亀岡小学校、東温市の川上小学校、西予市の野村小学校・遊子川小学校と県下の学校へのいとすぎの植樹が始まりました。

このように、上甲先生は本県いとすぎ植樹活動の草分けの役割を果たされた恩人であります。



さくら小での植樹 (H18,3.)



成長した亀岡小のいとすぎ (H24,3.)

5 潮見小学校のいとすぎ

松山市の潮見小学校に「いとすぎ」らしいものがあることを、ある賛助奉仕団員から聞き、平成18年1月に同校を訪問しました。正門を入ると目の前に4階校舎を超える威風堂々とした「いとすぎ」の木がありました。しかし、校長先生におたずねしても、だれが、いつ、なんのために植えたかわからないということでした。

早速、私が調べることにしました。たまたま、元県青少年赤十字賛助会副会長の金崎久男先生(94歳)に電話でおたずねしたところ、「あの『いとすぎ』わしが植えたんよ。」と言われ、驚きました。

昭和38～39年に校長として在職中、青少年赤十字に加盟したことを記念して植樹

したとのことでした。

このいとすぎの由来がはっきりしたので、私は高さ2メートルの手製の檜の標柱を作り、「ソルフェリーノの丘のいとすぎ 昭和38年 青少年赤十字加盟記念」と書き、学校に届けました。

その後しばらくして、学校より、元金崎校長先生を招いて標柱を立てるセレモニーをしたいので出席してほしいという連絡をいただきました。3月19日セレモニーに出席された金崎先生は大変喜ばれ、当時の思い出を子どもたちに話されました。

この後、潮見小学校では、このいとすぎを赤十字活動の象徴として、学校の宝として受け継いでいます。また、このいとすぎの種を毎年分けていただき、苗を育て、県下の学校に植樹しております。



潮見小のいとすぎ



金崎久男先生を囲んでの記念写真（H18.3.19.）

6 いとすぎ植樹の啓発活動

「私たちのシンボルとなっているいとすぎの苗木を学校等に植樹することは、赤十字発祥の地への思い、共に成長する共感の育成、加盟継続など大変意義深いものがある」という趣旨で、愛媛県青少年赤十字賛助奉仕団は平成18年の総会で、いとすぎの植樹を組織的に進めることを決議しました。

特に、新加盟校への植樹は加盟記念として推奨することとしました。平成25年3月現在、加盟記念の植樹校は22校となりました。

いとすぎ植樹を進めるため、その由来や目的を県青少年赤十字指導者協議会の総会や県青少年赤十字奉仕団委員長会、県小中学校長会理事会で説明し普及につとめました。また、平成20年9月5日に松山市のコミセンで開かれた「赤十字社員の集い」では、いとすぎの苗を手を持って、赤十字のシンボルとなった由来を説明し、学校のみならず赤十字関係機関への植樹をすすめました。

そして、平成21年4月には愛媛県血液センターに、翌年3月には松山赤十字病院に植樹することができました。共に現在順調に成長しています。

それらのいとすぎを植樹するとき、その側に手製の標柱を立てることにしています。高さ2メートルの檜の柱の表に「ソルフェリーノの丘のいとすぎ」、裏に「平成〇年〇月

愛媛県青少年赤十字賛助奉仕団」と記しました。揮毫は長年愛媛大学附属小学校で書道の指導をしておられる竹田敏行先生にお願いしています。この標柱を子どもたちが目にするだけでいとすぎ植樹の意味が忘れられず継承されていくものと思われま



県血液センターの植樹



松山赤十字病院の植樹

7 菊間中学校でのいとすぎ植樹式（1・2年生参加）

平成24年3月6日、今治市立菊間中学校で新規加盟記念植樹を行いました。体育館で、1、2年生にいとすぎの由来や植樹の意義を説明し、その後、体育館前に生徒たちと共に植樹しました。後日下記のような生徒の感想文が届きました。

- ぼくは、今日の糸杉植樹で、青少年赤十字の一員であることを、改めて感じることができました。
- 今まで、あまり自覚がなかったけれど、今日からは、青少年赤十字の一員として、心身を強健にし、人のために、世界のためになるような活動に、積極的に参加したいです。
- ぼくは、中学校へ入るまで、一人でいる人がいても無視していました。しかし。これからは、アンリー・デュナンのように、傷ついた人がいれば、寄り添って、手当など、自分でできることを、しっかりやっていきたいです。
- この糸杉の木を植えたことで、みんなが助け合って生きることの大切さや、命の尊さなど、たくさんのことを学びました。
- この糸杉には、アンリー・デュナンの想いが詰まっていると思うと感動です。そして、その子孫が、遠く離れた日本で育っていることに、とても神秘さを感じます。この糸杉と共に、私自身も成長していきたいです。
- 生まれる場所が違って、肌の色が違って、男の子でも、女の子でも、同じ人間として、互いに思いやる気持ちを忘れないようにしたいと思います。自分の命、人の命を大切にします。
- もう一度、自分を見つめ直し、アンリー・デュナンのように、敵味方関係なく、みんなに優しくできて、信頼してもらえる人になれるよう、日々の生活を見直していきたいと思います。
- ぼくもこれからは、糸杉やアンリー・デュナンのように生きていって、将来苦しい時、つらい時、悲しい時、みんなで支え合って協力していきたいと思います。赤十字の活動はとても素晴らしいと思います。



菊間中で説明



菊間中での植樹

8 いとすぎの植樹を振り返って

7年前に潮見小学校のいとすぎから種をいただき、それからわが家のテラスでその苗を育ててきました。そして、この7年間、毎日欠かさずこのいとすぎを見守り、世話をし、時には語りかけ育ててきました。わが子を育てるような思いでありました。

同じような思いで、上甲乱一先生や田中耕太郎先生もそれぞれの自宅で苗を育てて下さいました。お陰で平成25年3月現在、県下85カ所の学校等に植樹することができました。

この8年間のいとすぎの植樹活動を通して、改めてその成果をまとめると次のようになります。

- いとすぎが赤十字のシンボルとなった由来を説明することにより赤十字思想の原点を確認できる。
- いとすぎに宿るアンリー・ユナンの人道・博愛の精神を啓発すると共に、その普及を図ることができる。
- いとすぎの苗と共に「ソルフェリーノの丘のいとすぎ」の標柱を設置することにより、青少年赤十字を学校に定着することができる。加盟継続効果がある。
- いとすぎの成長と共に青少年赤十字活動も活発にする相乗効果が期待できる。
- 新しく青少年赤十字に加盟した学校が、加盟記念植樹すると、その効果は大であり、意義深い。
- 賛助奉仕団員がいとすぎの成長の見守り活動をするにより、学校と賛助奉仕団とのつながりが深まる。

私自身、いとすぎの成長ぶりを見に行くことが大きな楽しみになっています。

特に、いとすぎの植樹に同行して下さる田中久雄先生とは「いとすぎに会いに行きましょうや」とたびたび見守り活動をご一緒させていただいています。

今後とも一本でも多くのいとすぎの植樹をすすめていきたいと念じています。

9 現在までに植樹した学校

年 月	学 校 名	備 考
平成18年3月	松山市立さくら小学校	
〃 3月	東温市立川上小学校	
〃 3月	今治市立亀岡小学校	加盟記念
〃 3月	西予市立野村小学校	
〃 3月	西予市遊子川小学校	
平成19年3月	今治市立大西小学校	加盟記念
〃 3月	今治市立波方小学校	加盟記念
〃 3月	久万高原町立柳谷中学校・ 柳谷小学校	
〃 3月	久万高原町立畑野川小学校	加盟記念
〃 3月	西予市立多田小学校	
〃 3月	西予市立魚成小学校	新校舎完成記念
〃 11月	鬼北町立好藤小学校	第49回研究会記念
〃 11月	久万高原町立直瀬小学校	加盟記念
〃 11月	松山市立福音小学校	平成19年県大会記念
平成20年3月	伊予市立下灘小学校	第50回県研究大会
〃 3月	大洲市立大洲東中学校	
〃 3月	大洲市立三善小学校	
〃 3月	大洲市立長浜小学校	
〃 3月	大洲市立大成小学校	
〃 3月	松山市立生石小学校	平成20年県大会記念
〃 3月	今治市白鳩保育園	加盟記念
〃 3月	今治市立美須賀小学校	
〃 3月	松山市立栗井小学校	
〃 3月	東温市立北吉井幼稚園	加盟記念
〃 3月	松山市立正岡小学校	加盟記念
〃 3月	西予市立宇和町小学校	
〃 3月	西予市立石城小学校	
〃 4月	四国中央市立川之江小学校	
〃 4月	四国中央市立上分小学校	加盟記念
〃 4月	四国中央市立妻鳥小学校	
〃 4月	西予市立明浜中学校	
〃 4月	西予市立溪筋小学校	

年 月	学 校 名	備 考
平成20年5月	西予市立城川中学校	
〃 10月	愛南町立平城小学校	
〃 10月	愛南町立一本松小学校	
〃 11月	愛南町立長月小学校	
〃 12月	愛南町立城辺中学校	
平成21年3月	松山市立たちばな小学校	
〃 3月	松山市立東雲小学校	創立100周年記念
〃 3月	砥部町立高市小学校	加盟記念
〃 3月	宇和島市立住吉小学校	
〃 4月	愛媛県血液センター	赤十字思想誕生 150 周年 日赤愛媛県支部創立 120 周年
〃 5月	今治市立日高小学校	第51回県研究大会
平成22年2月	伊方町立伊方小学校	
〃 2月	東温市立南吉井小学校	
平成22年3月	砥部町立玉谷小学校	加盟記念
〃 3月	松山市立姫山小学校	
〃 3月	今治市晴心幼稚園	加盟記念
〃 3月	松山赤十字病院	赤十字思想誕生 150 周年 日赤愛媛県支部創立 120 周年
〃 3月	新居浜市立泉川小学校	
〃 3月	西予市立俵津小学校	
〃 4月	大洲市立粟津小学校	
〃 11月	松山市立浅海小学校	加盟記念
〃 11月	上島町教育委員会 (元佐島小跡地)	全町小・中加盟記念
〃 11月	砥部町立砥部小学校	
平成23年2月	松山市立宮前小学校	
〃 2月	松山市立桑原小学校	平成22県大会記念
〃 2月	越智郡上島町立岩城小学校	
〃 2月	越智郡上島町立岩城中学校	
〃 2月	今治市立鳥生小学校	
〃 3月	松山市立味生小学校	第53回県研究大会
〃 3月	大洲市立正山小学校	加盟記念
〃 3月	八幡浜市立松陰小学校	
〃 3月	松山市立北条南中学校	
〃 6月	西予市立中川小学校	

年 月	学 校 名	備 考
平成23年12月	松山市立南中学校	加盟記念
平成24年2月	西条市立石根小学校	
〃 2月	松山市立難波小学校	
〃 2月	松山市立みどり小学校	H23県大会記念
〃 3月	今治市ゆりかご幼稚園	
〃 3月	今治市こまどり幼稚園	
〃 3月	上島町立弓削小学校	
〃 3月	今治市立菊間中学校	加盟記念
〃 3月	今治市立菊間小学校	加盟記念
〃 3月	西予市立三瓶中学校	
〃 3月	松山市立垣生小学校	
〃 3月	愛南町立中浦小学校	加盟記念
〃 4月	松山赤十字看護専門学校	
平成25年2月	愛南町立福浦小学校	加盟記念
〃 2月	松山市立高浜小学校	
〃 3月	今治市立大西中学校	創立50周年記念
〃 3月	今治市立朝倉中学校	加盟記念
〃 3月	東温市立川内中学校	加盟記念
〃 3月	東温市立拝志小学校	
〃 3月	西条市立三芳小学校	
〃 3月	松山市立素鷲小学校	加盟記念
〃 5月	愛媛大学付属小学校	創立130周年記念

10 「えひめいとすぎ物語」に寄せて

元愛媛県青少年赤十字賛助奉仕団副委員長 田中久雄

昭和62年4月1日、日本赤十字社愛媛県支部百年史担当職員(囑託)を委嘱され、愛媛県支部百周年記念事業推進委員会で「日赤愛媛県支部百年史」の発刊が決まり、その後年表作成・原稿作成・印刷所渡し・校正と進め、平成元年5月に刊行しました。

この百年史の編集をとうして、赤十字のシンボルツリーと呼ばれている「いとすぎ」に強い関心を持ちました。

その後研修旅行でソルフェリーノの丘を訪ね、激しい戦で命を落とした兵士や、近くの教会に安置されている納骨堂の霊を想うとき、このいとすぎが群生する大地には「人間みな兄弟」と唱えた赤十字の心が染みこんでいると強く感じ、脳裏に深く刻まれました。

そのようなことから、いとすぎに強く心をひかれ、愛着を覚えるようになりました。これからも、いとすぎの見守り活動を続けていきたいと念じています。